

あきた国際化推進プログラム（令和4～7年度）（概要版）

令和4年3月 秋田県国際課

【プログラム策定の趣旨】

本プログラムは、本県の国際化施策を総合的に推進するための基本方針を示すものです。令和4年3月に策定された「新秋田元気創造プラン」は、延べ137の施策の方向性で構成されていますが、このうち、国際化関連施策として、四つの戦略と10の重点戦略と34の施策で構成されていますが、そのうち、国際化関連施策として、4つの戦略と10の施策の方向性を集約し、さらに「重点戦略」として4つの施策を加えて本プログラムとしています。

【秋田県の国際化の現状と課題】

本プログラムの前の国際化の基本計画である「あきた国際化推進プログラム（平成30～令和3年度）」は、平成30年度から令和3年度までの4年間を計画期間とし、7つの施策により取組を進めました。取組の目標値等は概ね順調に推移しましたが、今後の課題として以下の事項があり、引き続き、取り組んでまいります。

- ◆多文化共生社会構築に向けた意識啓発の推進
- ◆外国人支援体制の充実と支援人材の育成
- ◆在住外国人に対する日本語学習機会の拡充
- ◆海外の需要を取り込んだ地域活性化の推進

【プログラムの構成】

「あきた国際化推進プログラム（令和4～7年度）」では、令和4年度から7年度までの4年間の取組を推進します。本県の国際化のこれまでの取組と現状を踏まえ、様々な施策を展開します。

【戦略と目指す姿】

戦略1 教育・人づくり戦略

目指す姿 1 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ①英検3級相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合
現状値(2019)39.1%⇒目標値(2025)60.0%
- ②英語ディベート交流会等への参加生徒数
現状値(2020)61人⇒目標値(2025)120人
- ③国際理解講座への参加者数
現状値(2020)592人⇒目標値(2025)575人

【施策の方向性】

①	グローバル化に対応した英語教育の推進
②	多様な国際教育の推進
③	県民の国際理解の促進と多文化共生の推進

【主な取組】

1	英語コミュニケーション能力の育成に向けた小・中・高校一貫した授業改善の促進
2	ALT等の人材を活用した効果的なチーム・ティーチングによる指導の実施
3	英語コミュニケーション能力の育成に向けたイングリッシュキャンプ等の実施
4	教員の指導力・英語力の向上に向けた実践的な研修の実施
1	オンラインによる英語ディベート等の推進
2	児童生徒と海外の学校や県内大学の留学生等との交流の促進
3	高校における課題研究・国際交流活動等の促進とその成果の共有
4	高校生の海外留学への支援
1	海外との青少年交流、学術交流等の促進
2	県内大学と海外大学の交流の促進
3	オンラインを活用した海外交流の架け橋となる人材の育成への支援
4	国際交流団体等による国際理解活動や国際協力活動への支援
5	留学生の受入れの促進と在住外国人が暮らしやすい環境づくり
6	海外在留経験者等を活用した県民の異文化理解の促進

戦略2 産業・雇用戦略

目指す姿 2 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

- ①貿易支援機関による海外展開支援件数
現状値(2020)34件⇒目標値(2025)37件
- ②東北管内における秋田港国際コンテナ貨物取扱量のシェア
現状値(2020)19.4%⇒目標値(2025)21.0%

①	アジア等との貿易の促進
②	港湾施設の整備

1	海外展開の段階に応じた県内企業への支援
2	県内企業の海外展開を下支えする貿易支援機関への支援
3	経済交流協定等を締結している海外地方政府等との経済交流の推進
4	秋田港を利用する新規荷主の開拓と継続荷主の利用拡大に向けた支援
5	新規航路の開設と既存航路の維持・拡充に向けたポートセールの推進
1	洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備
2	環日本海交流の拠点となる港湾の機能強化

目指す姿 3 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

- ③洋上風力発電における港湾の利用件数
現状値(2020)2件⇒目標値(2025)6件

戦略3 農林水産戦略

目指す姿 4 農業の食料供給力の強化

目指す姿 5 林業・木材産業の成長産業化

- ①農産物の輸出額
現状値(2020)290百万円⇒目標値(2025)600百万円

①	農産物のブランド化と流通・販売体制の整備
②	木材の生産・流通体制の整備と利用の促進

1	輸出企業と連携したルートの多角化による県産農産物の輸出の促進
2	輸出に取り組む農業者への支援と産地づくり
3	インバウンド需要の多い沖縄を拠点とした県産農産物のブランド化と流通の促進
1	県内企業による製材品の輸出の促進

【戦略と目指す姿】

【施策の方向性】

【主な取組】

戦略4 観光・交流戦略

目指す姿 6 「何度でも訪れたいあきた」の創出

①外国人延べ宿泊者数
現状値(2020)25,380人泊⇒目標値(2025)70,000人泊

目指す姿 7 「美酒・美食のあきた」の創造

②加工食品・日本酒の輸出金額
現状値(2020)668百万円⇒目標値(2025)1,163百万円

目指す姿 8 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

③秋田空港国内定期航空路線利用者数
現状値(2020)273千人⇒目標値(2025)1,351千人
④大館能代空港国内定期航空路線利用者数
現状値(2020)24千人⇒目標値(2025)240千人
⑤県内高速道路の供用率
現状値(2020)92%⇒目標値(2025)96%

①	戦略的なインバウンド誘客の推進
②	多様な流通チャネルを活用した県産食品の販売の促進
③	航空路線の維持・拡充
④	高速道路等の整備

1	アターコトを見据えた対象市場の見直しとプロモーションの展開
2	クルーズ船の誘致の推進
3	多言語表記などインバウンド回復に備えた受入態勢の整備への支援
1	展示会への出展等による販路拡大とSNS等を活用した情報発信の促進
2	輸出対象国のニーズに対応した商品開発と商談会等の実施への支援
3	輸出事業者の拡大に向けた共同輸送への支援と事業者ネットワークの構築
4	ネット取引等の拡大に向けた取組への支援
1	大館能代空港における東京羽田線3往復運航の定着に向けた県民の利用と周辺観光資源を活用した誘客の促進
2	旅行スタイルの変化に対応した旅行商品の造成への支援や乗継の利便性が高い地域への重点プロモーションの実施
3	LCCを含めた新たな需要が見込まれる新規航空路線の誘致や既存航空路線の拡充に向けた働きかけの実施
4	空港利用促進協議会等との連携による秋田空港・大館能代空港の受入態勢の整備
5	国際チャーター便の誘致の推進
1	交流の拡大や経済の活性化、グリーン物流等を支える高速道路網の整備
2	高速道路を補完して広域交流を支える幹線道路網の整備
3	物流・交通拠点へのアクセス道路の整備
4	誰にでも分かりやすい道路案内標識の整備

戦略5 (重点) 総合的な日本語教育推進戦略

目指す姿 9 日本語教育の環境整備

①	日本語教育に対する理解の促進
②	外国語としての日本語指導ができる人材の育成
③	日本語教室を核とした多様な学習機会の提供
④	学校における日本語教育の推進

1	関係機関の連携を通じた支援の強化
2	「あきた日本語サポーター」の登録促進
3	外国人等の母語・母文化への理解促進
4	やさしい日本語の普及啓発
1	日本語学習支援者の養成
2	県民による国際交流ボランティアへの参加促進
1	県内における日本語教育の情報提供
2	日本語学習支援活動の情報提供
3	多様な学習機会の提供
1	日本語指導支援員による支援
2	日本語教室等との連携
3	多文化共生を意識した教育の実現